



穴をあけて綴じてください



## 新社務所完成予想図

# 新しい時代に即応して

宮司 鈴木 武司

鎮守の森の新緑が目にしみ、広い境内に子どもたちの明るい声が響きわたっています。

九百三十有余年の伝統をもつ六郷神社は六郷一円の総鎮守として、年々ご参拝の方が増えていることは、この上ない喜びに存じます。ご神徳によりますことは勿論であります、が、氏子崇敬者みなさまの格別なるご尽力のたまものと深く感謝申し上げます。

このたび神社では社務所を改築することになりました。昭和八年に建てられた現社務所は、すでに六十年を経過して、老朽化が著しく、維持管理も限界に達しています。あまつさえ祭典行事や社務の執行にも狭隘かつ不便なため、一昨年来、関係者相寄り検討を重ねた結果、ご社殿東側の地に新社務所を建設することを決定、すでに工事が始まっています。

新しい時代に即応した社務所が滞ることなく竣工できますよう、みなさま方のさらなるご支援ご協力を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

## 新社務所はこのように

# 社務所新築の建設資金に 会員皆様のご寄付を

会長 森田 賢治

顧みれば昭和62年、六郷神社鎮座九百三十年祭記念御造営事業が完成し、ご社殿はじめ境内全般にわたる整備により、ご社頭の面目が一新されましたことは、まことにご同慶のいたりに存じます。

しかし唯一つ惜しむらくは、現在の社務所の老朽化が甚だしく、日常の社務にも支障をきたす状況にあることでした。このたび六郷神社においては新しい社務所の建設にふみきり、4月16日には地鎮祭がめでたく執り行われました。

新社務所には、崇敬会の諸行事にも使用できる大広間や会議室なども設けられる予定です。

なお、ご寄付は社務所において隨時受け付けております。

◎地鎮祭 平成6年4月16日執行  
◎上棟式 平成6年秋の予定  
◎竣工式 平成7年夏の予定

●冒頭のカラー写真（完成予想図）のよう

に、ご社殿東側の境内に建てられます。

●ご社殿が曲線美の総ヒノキ現造りであるのに対し、新社務所は直線を生かした数寄屋造り鉄筋コンクリート建築で、一部2階建てとなります。

●総面積375・6坪。

●1階には、大広間（洋室）、ロビー、会議室、応接室、社務室、宮司室、茶室、職員居室、厨房、トイレ、その他。

●2階には、中広間（和室）、展示室、職員居室、その他。

●設計——日本建築工芸設計事務所。  
●施工——株式会社山田組。

いずれも、鎮座九百三十年祭記念のご社殿建築を担当した業者です。

# 平成6年度事業計画(案)

## (1) 六郷神社ついたち早朝まいり(定例)

昇殿参拝後、会員が交代で10分以内の短い講話を行います(元旦を除く)。

7月より10月まで 午前6時集合

11月より6月まで 午前7時集合

## (2) 江戸東京たてもの園・バス見学会

## (3) 六郷土手の野鳥観察会

# 平成5年度の会務 および事業報告

六郷神社崇敬会 平成5年度決算報告書 収支計算書(平成5年4月1日から 平成6年3月31日まで)				
収入の部	金費費金入	金費費金入	金費費金入	円
前人	683,994	1,866,000	580,000	683,994
個法寄雜合	124,500	89,266	89,266	1,866,000
人	3,343,760			580,000
支出の部	金入費号	費費料費	費費料費	円
六郷神社	協賛	費費料費	費費料費	580,000
協賛	準備品	(第8・9号)	費費料費	420,000
備	会報発行	務信議替払品	費費料費	19,800
事通会	事務	申込	費費料費	575,770
郵消渉催雜次	便振耗	外事	費費料費	148,526
期	繰	越	費費料費	244,272
合	合	合	費費料費	212,706
			費費料費	24,800
			費費料費	56,574
			費費料費	269,110
			費費料費	473,925
			費費料費	17,890
			費費料費	300,387
			費費料費	3,343,760
資金残高内訳(平成6年3月31日現在)				
次期	繰越金	累計額	300,387	
協賛準備金		計	770,000	
合		計	1,070,387	
郵便振替貯金			2,925	
城南信用金庫定期預金			800,000	
同 普通預金			236,169	
現金			31,293	
合		計	1,070,387	

## 監査報告書

監査の結果、上記平成5年度決算報告書は、正確であることを認めました。

平成6年5月2日 監監事事代桑田原秀雄 静印

平成6年3月31日現在、本会の会員数は個人757名、法人77社。本年度は常任理事会を7回、理事会および役員懇親会を各1回開催し、会の運営を図りました。

平成5年4月1日 第36回ついたち早朝まいり。講話「桜によせて」(森繁春)

5月1日 第37回ついたち早朝まいり。講話「江戸東京博物館について」(森賢治)

5月15日 理事会。会報第8号発行。

6月1日 第38回ついたち早朝まいり。講話「まつりとはやし」(平野順治)

6月12日 祭礼。六郷ばやし初演奏。

7月1日 第39回ついたち早朝まいり。講話「トンビ凧の伝統を守る」(前嶋唯七)

8月1日 第40回ついたち早朝まいり。講話「神輿、よみがえる」(中村幸雄)

9月1日 第41回ついたち早朝まいり。講話「六郷地区の庚申塔」(平野欽宥)

9月18日 江戸東京博物館・ガスの科学館など、日帰りバス見学会。

10月1日 第42回ついたち早朝まいり。講話「六郷育ちの友情」(井上富子)

11月1日 第43回ついたち早朝まいり。講話「獅子舞の世話人として」(代田秀雄)

11月3日 創立4周年記念献木式と添釜。

12月1日 第44回ついたち早朝まいり。講話「丸半本家のこと」(鈴木晴子)

12月25日 役員懇親会。会報第9号発行。

平成6年1月1日 清酒2斗樽奉納。献花。

1月3日 会員初詣昇殿参拝。250名参加。

1月22日 伊勢神宮初詣と明治村見学の旅。32名参加。

2月1日 第45回ついたち早朝まいり。講話「自己紹介」(徳永良枝)

3月1日 第46回ついたち早朝まいり。講話「氏神様と私たち」(持田博美)

平成6年度収支予算(案)				
(平成6年4月1日から平成7年3月31日まで)				
収入の部	個人	会費	費	円
個法	人	1,890,000円	650,000	
雜	人	200,000	200,000	
前	会	300,387	300,387	
期	会			3,040,387
合	合			3,040,387
支出の部	六郷神社	協賛	金費	円
備	品	800,000円	10,000	
会報発行費	(第10・11号)	600,000	150,000	
事務	務	200,000	220,000	
事通会	信議替	30,000	400,000	
郵消渉催雜予	払品	400,000	250,000	
便振耗	申込	200,000	20,000	
外事	外事	160,387		
備				3,040,387
合				3,040,387

[注] 平成6年度に社務所新築寄付金100万円を支出します。これは協賛準備金取崩し77万円と当期協賛金予算額より23万円を充当致します。

7月10日  
第5回

# 定期総会にご出席を

第5回定期総会を左記のとおり開催しますので、ぜひご出席ください。なお、総会終了後、懇親会を行います。

記

一、日時 平成6年7月10日(日)午前10時30分

二、場所 大田区東六郷3-10-18 六郷神社社務所

## 三、会議の目的

### (1) 報告事項

平成5年度会務及び事業報告の件

### (2) 審議事項

- 平成5年度決算報告書承認の件
- 平成6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

## 四、会員懇親会



## 社務所新築地鎮祭

4月16日午前10時30分より、六郷神社宮司鈴木武司、日本建築工芸設計事務所代表取締役小橋英雄、株式会社山田組代表取締役新庄英三の三氏により鍤入れの儀が執り行われ、引き続き神社役員、崇敬会、氏子青年会の各代表が玉串を奉奠。社務所新築工事の無事を祈念して、滞りなく式は終了しました。



## 伊勢神宮初詣と 明治村見学の旅

1月22日、第61回式年遷宮後の木の香も新しい内宮の御垣内での正式参拝。太神樂を奉納。23日、外宮参拝。おかげ横町を散策。明治村では最古の六郷川鉄橋(明治10年創建)を見学。24日、国宝の茶室如庵と犬山城を見学。冠雪の富士も美しく、忘れがたい感銘の旅であった。

## ◆新入会員紹介

仲一・草野隆夫 仲二・妙林勇  
中根治夫 仲三・遠藤富美子、藪崎守一 仲四・岩出芳明 西一・杉山博 西二・奥村愛、島村幸子 東矢口・竹内敏二 南蒲田・菅谷文男 江東区・林 泰広 渋谷区・上本利夫 浦和市・林延行

## ◆茅の輪をくぐつて健康に

6月30日の夏越の大祓には、社殿正面に設けられる茅の輪をくぐつて、健康を祈りましょう。

## ◆平成6年度の会費納入を

お手数でも同封の振替用紙で、平成6年度の会費(平成6年4月1日から同7年3月31日までの分)をお納めください。

## ◆本年度のお祭りは、社務所新築工事のために中止

発行=六郷神社崇敬会  
〒144大田区東六郷3-11-18  
六郷神社社務所内  
電話〇三-3732-1889  
振替〇〇一九〇一六一三五五三  
編集=平野順治